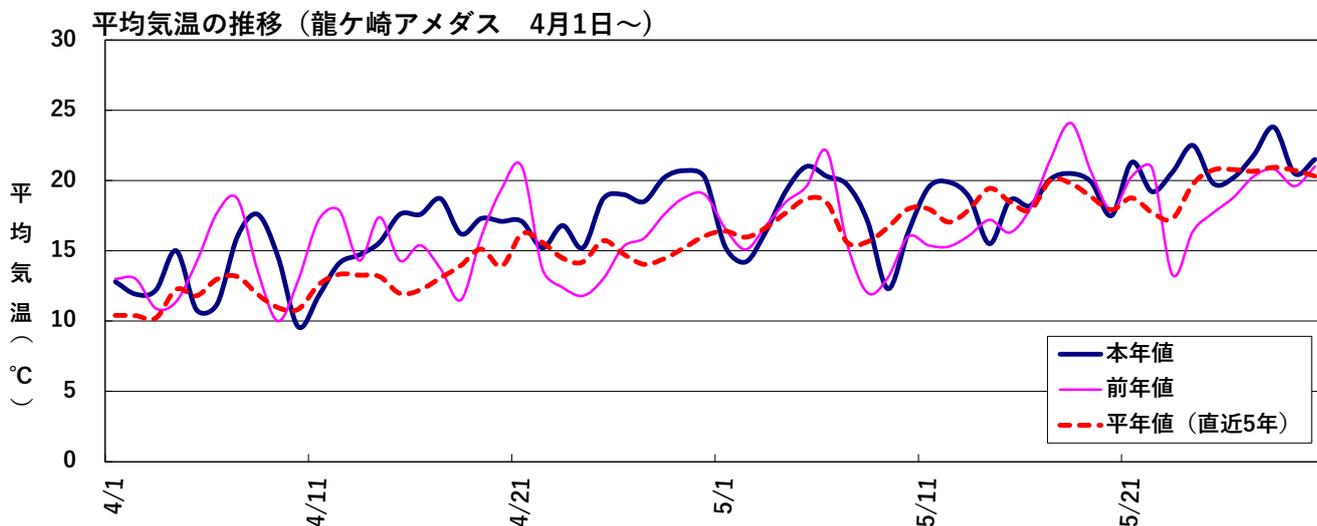


令和6年度 水稻生育状況と今後の管理について (中干し時期)

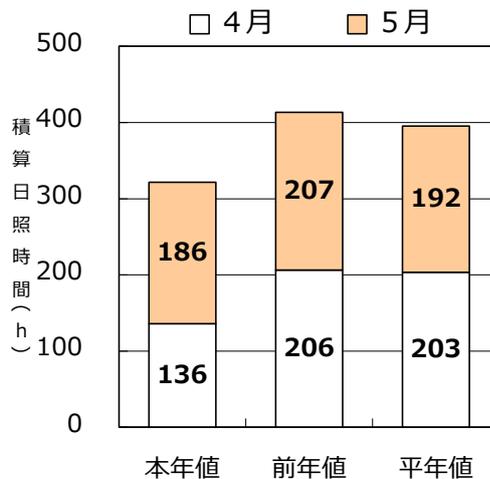
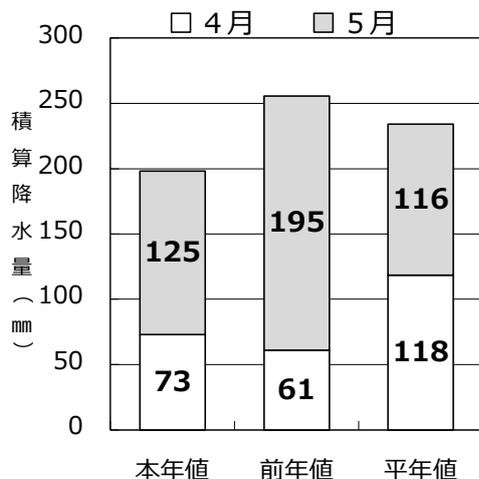
令和6年6月4日(火)
稲敷地域農業改良普及センター

1. 本年の気象状況 [4/1～5/30]

(1) 日別平均気温の推移



(2) 降水量、日照時間の積算値



気象状況	4月1日～5月30日	
	平年比	(参考) 前年比
気温	110% (高い)	106%
降水量	85% (少ない)	77%
日照時間	81% (少ない)	78%

- 今後の気象予報 (関東甲信地方の1ヶ月予報: 5/30 気象庁発表【予報期間: 6/1～6/30】)
- ・ 向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間はほぼ平年並みの見込み。
- ・ 6月1週目の気温は低いが、3～4週目は高い見込み。

<病害虫防除所発表の病害虫発生予報 (6月号) より>

- ・ ヒメトビウンカ: 発生時期は早く、発生量は平年並み～やや多い。
- ・ ニカメイガ: 発生量はやや多い。

2. 今後の管理 ～生育を確認して中干しを行いましょう！～

中干しをすると、無駄な分げつを抑え、もみ数過多を防ぎ、乳白粒の発生を抑えます。また、根に酸素を供給して健全に保つとともに、田面を固めて地耐力を上げる効果があります。

開始の目安は移植後 30～40 日経過した頃（下表の茎数が確保できた頃）ですが、圃場によって開始時期は異なります。このため、実際に圃場に入って茎数を確認しましょう。

表 中干し開始の目安

植え付け株数 (畦間 30cm の場合)	㎡あたり 植付株数	中干開始時の 1 株あたり茎数	
		コシヒカリ にじのきらめき	あきたこまち
坪 60 株植え (株間 18cm)	18.5 株	17～18 本	19～20 本
坪 50 株植え (株間 22cm)	15.2 株	21～22 本	23～24 本

圃場の今の茎数は？

足りない ⇒2～3cm の浅水管理を続ける。(1 日で株あたり 1 本程度増える)

ほぼ確保 ⇒中干しに切り替える。

過剰 ⇒すぐに中干しに切り替え、強めに行う。

中干しの程度

- ・田面に 3～5mm くらいのヒビが入るくらいまで行う。
- ・期間は 5～10 日間程度を目安とする。
- ・漏水田（ザル田）では軽めに行う。
- ・畑へ転換した後に、再び水稻を作付けした場合や前年に倒伏した圃場、湿田、葉色の濃い圃場では、強め（10～15 日程度）に行う。

中干し終了の目安と終了後の水管理

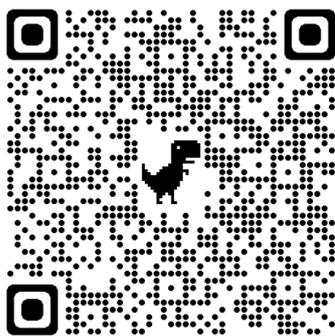
- ・田面が固まり、葉色が淡くなったとき（葉色板で 4 程度）が、終了の目安である。
- ・幼穂形成期までに中干しを終了し、その後は根腐れ防止のため、入水と自然落水を繰り返す「間断かんがい」を行う。
- ・幼穂形成期（出穂 25～16 日前）以降に日平均気温が 20℃以下の日が続く、もしくは最低気温 17℃以下になるなど、低温が予想される場合、障害型冷害を防止するため深水管理とし保温に努める。

水稻の生育ステージ	水深の目安
幼穂形成期から減数分裂期前まで（出穂 25～16 日前） （前歴深水）	10cm 程度
減数分裂期（冷害危険期）（出穂 15～10 日前）	できれば 20cm 程度

3. 病虫害発生予察情報

近年、イネいもち病や斑点米カメムシ類の発生により減収・品質低下がおこった事例が散見されます。

病虫害防除は適期に行うと高い効果が得られます。予察情報をもとに、発生状況の把握や適期防除に努めましょう。



茨城県病虫害防除所
病虫害発生予察情報ページ

病虫害発生予察情報

病虫害発生予察情報とは

- PDF 予報の見方 (PDF: 132キロバイト)

種類	更新日	
予報	PDF 令和5年6月号 (PDF: 557キロバイト) 7月号: 令和5年6月29日発表予定	令和5年5月26日
注意報	PDF 水稲 (イネ縹葉枯病) (PDF: 223キロバイト)	令和5年5月24日
速報	PDF 水稲 (イネ縹葉枯病) (PDF: 158キロバイト)	令和5年5月30日
特殊報	PDF ナシ (サクセスキタイムシ) (PDF: 168キロバイト)	令和3年11月24日

過去の病虫害発生予察情報
(R5/R4/R3/R2/R1/H30/H29/H28/H27/H26/H25/H24/H23/H22/H21/H20/H19/H18/H17)

- ・注意が必要な病虫害について、予報が掲載されています。
- ・過去の発生状況や防除適期についても記載されています。

【NOTE】